五高新聞

試される英語力

バラモンプラン in Tokyo 終了後、留学生と交流を行った。班ごとに留学生が加わって、先生方から出された９つのミッションをクリアしていくという活動であった。ミッションは浅草に７人、東京スカイツリーの中に２人いる先生方を探し、出されたクエスチョンに答えていくというもの。クエスチョンは主に留学生に対して出され、班員の名前や東京スカイツリーのキャラクターの名前、浅草寺の読み方などを班員が留学生に教え、留学生が答える形式だった。

生徒は移動しながら留学生と英語で会話をして、今まで勉強してきた文法や表現を活用した。英文に多少の間違いはあっても助け合ったり心で通じたりして上手くコミュニケーションをとった。

全てのミッションをクリアした班には景品として、「銀座しっとりクッキー」が贈呈された。留学生と別れる時間になると、別れを惜しんでハグを交わす生徒と留学生の姿が多く見られた。

この活動は、海外の文化や価値観に興味を持つきっかけとなった。これからの学習によい刺激を与えられた。

五重塔

浅草寺

浅草の人力車

修学旅行号その２

1月23日
（木曜日）

発行所　五島高校
発行責任　五島高校新聞部
編集　阿野優利　橋詰夕海
橋本妃菜　松村萌花
切江ひなた

スカイツリー

仲見世通り

雷門

夢の世界へ

おそらく２年生全員が心待ちにしていたであろう東京ディズニーランドでの自由時間。不思議なディズニーの魔法をかけられて、夢のような８時間を過ごした。

たくさんのアトラクションや楽しげなパレード、光り輝くイルミネーションなど、普段ならば体験することのできない非日常をめいっぱい楽しんだ。みんなが身に着けていた被りものや、両手いっぱいのお土産が、どれだけ楽しかったかを物語っていた。帰りのバスの中で、遠ざかっていくディズニーランドを名残惜しそうに見つめる生徒の姿が印象的だった。

あらゆる人を笑顔にする、夢と魔法の王国、ディズニーランド。

そんな素晴らしい場所に友達と、先生方と行けたことは、みんなの中で最高の思い出となったことだろう。

東京ディズニーランド　クリスマスツリー

ドナルドダックが踊る様子

イルミネーション

ウォルトディズニーの銅像

五高新聞部よりお知らせ

五島高校新聞部は現在2年生5人で活動をしています。国語が苦手でも大丈夫です。ぜひ、私たちと一緒に新聞を作りませんか。水曜日と木曜日に活動をしています。興味のある方は2年生の新聞部まで！

江戸時代へタイムスリップ

４日目、東京江戸博物館を訪れた。約９００平米の巨大な展示室で、様々な展示物から江戸・東京の都市と文化、そこに暮らす人々の生活を楽しみながら学ぶことができた。実物大の日本橋から始まった常設展示は江戸時代から、明治・大正・昭和と進み、それぞれの時代の町並みや人々の生活の様子などを体感することができる。生徒たちは教科書からそのまま飛び出してきたような日本の歴史に目を輝かせながら学んでいた。五島で暮らす私たちにとって、このように大きな博物館を訪れるのは貴重な体験だ。今回学んだことをこれからの授業に絡めながら理解を深めたい。

東京江戸博物館　すしの展示

修学旅行を終えて

今回の修学旅行では、たくさんの学びや発見があった。移動中の船内や機内では、普段なら見られないクラスメイトの寝顔やリラックスした姿を見て、意外な一面を発見できた。企業訪問では、働き方は時代と共に大きく変化しているということを学んだ。東京大学訪問では、日本の最高学府の重厚な雰囲気や歴史を味わうことができた。班別自主研修では、五島とは桁違いに広く複雑な都心で道に迷う班もたくさんあったが、最終的には全員無事に帰ってくることができた。バラモンプラン in Tokyo では、社会人の方々から私達の活動に的確なアドバイスをいただいた。留学生交流プログラムでは、様々な国籍の留学生達と楽しく英語で交流することができた。東京ディズニーランドでは、キャストの方々全員が笑顔で働いているのが印象的だった。

修学旅行で得た学びや発見、思い出を糧に、これからの学校生活をまた頑張っていきたい。